

2020年9月18日

学生のみなさんへ

下関市立大学

学長 川波 洋一

秋学期の授業についての本学の考え方

本学では、国内外にわたって猛威を振るう新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、春学期の授業をすべて遠隔で実施いたしました。

6月に実施したWebアンケートでは、皆さんが慣れない遠隔授業に大変積極的に取り組んできたことが反映されていました。その中で、例えば「復習が何度でもできる」といった遠隔授業ならではの学習効果もあることが確認できました。しかしその一方で、特に新入生からは一人で学ぶ不安や友達がいないことによる孤独を感じるといった意見も寄せられました。

新型コロナウイルス感染症がいまだ収束していない現状においては、9月28日から始まる秋学期についても、原則としては遠隔で実施します。しかし、大学における学びには、学生同士や教員とのコミュニケーション、先輩後輩とのつながりなど、人と人が触れ合うことによる成長も重要です。このため、実習科目や演習科目など、対面が必要な科目については、感染予防対策を十分にとったうえで、対面授業を実施することにしました。

特に、4月に入学した新入生の皆さんが、大学キャンパス内での授業や生活を経験しないままに1年を過ごすことがないように、「基礎演習」については対面授業を実施することにしました。すべての回を対面で実施できるわけではありませんが、ぜひ、大学での学びの一步を踏み出してほしいと思います。

もちろん、基礎疾患や、同居のご家族への感染不安などから対面での授業参加が難しい場合には、担当教員はもちろんのこと、事務局や相談支援センターに相談してください。

大学としては、これからのwithコロナの新しい生活様式に沿って、様々な感染防止の対策をしながら、対面授業を一部再開し、皆さんの学びを、大学教職員一丸となって支えていくつもりです。

一方で学生の皆さんには、日常生活においても、一人一人が感染防止の意識を持ち、自覚と責任ある行動をするようにお願いします。